

新チャレンジ章「名勝博士」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など5つの分野で全40種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進歩課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業や団体とのタイアップによるバッジが数量限定で加わることになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・「名勝博士」とは

岡田茂吉（1882～1955）は、昭和20年代におよそ10年の歳月をかけて「神仙郷」を完成させました。

「美しいもの」を楽しむことで、人間の品性が高まると考えた岡田は、箱根・強羅の自然の特質を巧みにいかした造園を指揮し、優れた美術品を集めた「箱根美術館」も建設し、自然の美と人工の美をマッチさせ「美の世界」を造りました。そういった願いや管理手法が、現在まで継続されており、令和3年に国の「名勝」に指定されました。

バッジ取得に取り組む子どもたちには、「名勝 神仙郷」を楽しんでもらいたいことはもちろんですが、子どもたちの身近にもある「名勝」を通して、自然の美しさ、人が作り出す芸術の素晴らしさを発見し、先人になって自分たちもそれを後世に引き継いでいくという心を育ててもらいたいと願います。



Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

「名勝博士」では、「名勝」をきっかけにして、詳しく調べてみる、観察してみる、感じたことや想像を働かせ、形にして伝えてみることなどにチャレンジできるよう、ミッションを用意しました。ワークブックでは、子どもたちが活動のイメージを広げられるよう工夫しました。



活動を通して、日本の自然の美しさや、芸術的な日本文化を知り、それを継承していく心を育むことを目標とします。

【プログラムと細目の関連性】

1. 「名勝」について調べてみる。

⇒「名勝」とはどういうものなのか、インターネットや書籍などで調べてみましょう。

2. 行ってみたい名勝を調べてみる。

⇒「名勝」は全国に点在しているので興味がある、憧れるようなものを探してみましょう（※①）。子どもたちの身近に、素晴らしい「名勝」があるはずです。

3. 行ってきた名勝を写真に撮ったり絵を描いたりして、感想をまとめてみる。

⇒きれい！すごい！と感じたものをじっくり観察して、写真や絵として記録してみましょう（※②）。自分が感動したこと、それを作った人や受け継いできた人たちの思いなどをまとめてみましょう。

4. 行ってきた名勝の感想をみんなの前で発表する。

⇒それぞれの感動や、考えてみたことをみんなに伝えてみましょう。

※①チャレンジ章「案内」ア〜エに該当、※チャレンジ章「写真家」イ〜エ、「画家」ウに該当

・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。



・組集会での取り組み

調べてみた「名勝」について組の中で発表してみましよう。自分がどうして興味をもったのか、どんなことに感動したかなどを組の仲間と話し合い、自分の想いをまとめてみましょう。

・家庭での取り組み

既に行ったことのある「名勝」や、住んでいる地域にある「名勝」が無いか、インターネットや書籍などで調べてみて、家族と話してみましよう。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「名勝博士宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で授与せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

・制服への着用

企業・団体協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章のひとつです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはたすきに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

「名勝博士」を着用するという事は、「名勝」を通じて日本の自然の美しさや、芸術的な日本文化を知り、それを継承していく心をもったスカウトの証です。引き続き、多くの「名勝」を知り、新たな感動とともに素晴らしさを伝えていけるスカウトとして成長していくことを期待しています。

・使ったワークブックは

名勝博士宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動の様子を、ぜひ写真を含めてお知らせください。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Webサイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意: 団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

新チャレンジ章は、企業・団体とのタイアップによるものであり、皆様からいただいた報告内容が次年度へのつながりや、新たなテーマへとつながっていきます。

【報告いただく内容】

<必須事項> 所属（県連盟・団） 報告者氏名 実施日時 概要・展開
バッジ取得スカウト数 スカウト宣言

<任意事項> 展開方法 スカウトの気づきや声 指導者の気づきやご意見
活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）